

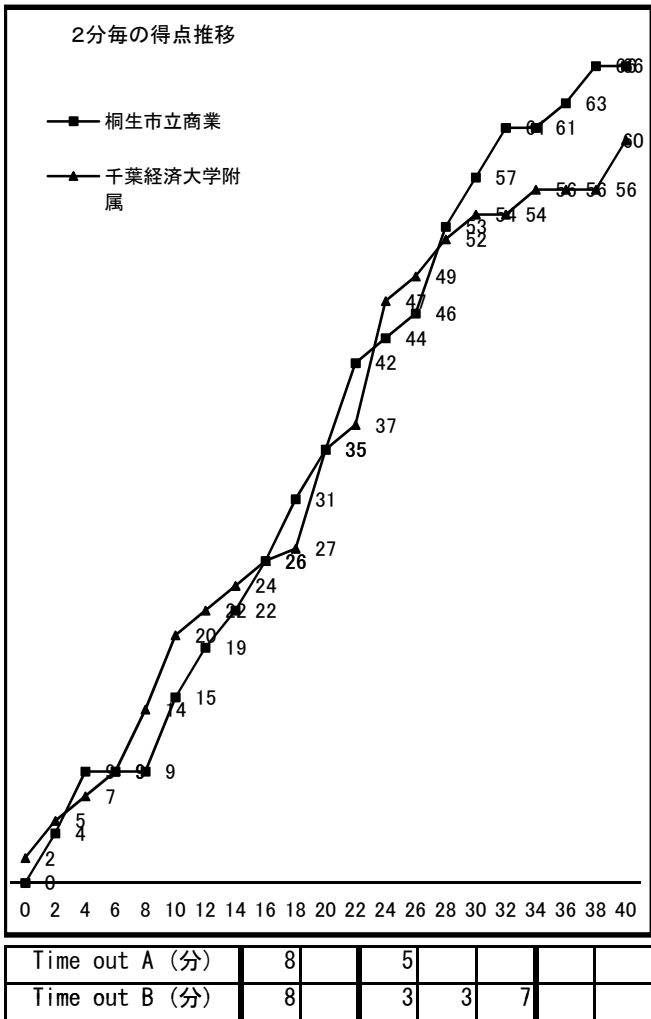
# 平成28年度 第70回 関東高等学校女子バスケットボール大会

Aブロック1回戦 平成28年6月4日(土)		高崎市浜川体育館		大会1日目 Aコート 第2試合 10:30~															
<Aチーム>  桐生市立商業  (群馬)	66	{ <table style="margin: auto; border: none;"> <tr><td style="padding: 0 5px;">15</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">20</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">20</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">15</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">22</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">19</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">9</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">6</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">-</td></tr> </table> }	15	-	20	20	-	15	22	-	19	9	-	6	-	-	-	60	<Bチーム>  千葉経済大学附属  (千葉)
15	-	20																	
20	-	15																	
22	-	19																	
9	-	6																	
-	-	-																	
主審 渡邊 整		副審 西村 明穂																	

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	山野井 美優	33	1	11	8	2
	5	生方 穂乃香	2	0	1	0	3
	6	高橋 希					
	7	米山 和佳	0	0	0	0	0
	8	郷 春花	6	0	3	0	0
	9	原國 英海	7	0	2	3	0
	10	志塚 舞	0	0	0	0	2
	11	荒井 沙弥	7	1	1	2	1
	12	石橋 莉子	0	0	0	0	0
	13	砂川 莉緒奈	3	1	0	0	1
	14	中村 汐里					0
	15	山本 優華					
	16	滝沢 綾乃					
	17	廣田 萌	8	0	4	4	1
	18	渡辺 由依					
コーチ		西條 佑治					
			66	3	22	17	10

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	秋元 文香	24	0	11	2	2
	5	小原 麻由	4	0	2	0	2
	6	坂下 彩香	4	0	2	0	4
	7	村松 優					
	8	千葉 彩音	0	0	0	0	0
	9	小澤 柚香	10	0	4	2	2
	10	菊地 花織					
	11	中村 友海	4	0	1	2	2
	12	宮城 彩子	8	0	2	0	1
	13	大嶋 彩也乃	6	0	3	0	0
	14	土屋 沙織					
	15	佐久間 愛唯					
	16	清水 眞菜香					
	17	高橋 菜花					
	18	石井 輝					
コーチ		池端 直樹					
			60	0	25	6	13

◎:スターター ○:出場 3P:3点シュート(本数) 2P:2点シュート(本数) FT:フリースロー(本数) Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 町田知之

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。千葉経済は#4のインサイドを中心に得点を重ねる。対して桐商は#17の3P、#4のドライブからの得点で食らいつくも速攻で点差を広げられる。15-20千葉経済の5点リードで第1P終了。

第2P序盤、桐商の#4、#11の連続得点で波に乗り逆転。たまたま千葉経済はタイムアウト。タイムアウト後、千葉経済はインサイドを広げ#11#12のドライブを中心に得点。35-35で第2P終了。

第3P、千葉経済は桐商の厳しいディフェンスにシュートを決めきれず、#6を投入。#4、#6のインサイドを中心に桐商のディフェンスを攻略していく。桐商も千葉経済の#4、#6のディフェンスを前に攻めあぐねるが、#4のドライブからフリースローを誘い、食らいついていく。終了間際、#9がフリースローを決めると2-2-1のゾーンプレスを展開し逆転に成功。57-54と桐商の3点リードで第3Pを終了。

第4P、桐商はウィングからのスクリーンプレーで連続得点でリードを7点に広げる。千葉経済は#4、#6のクリーンを使ってアウトサイドを狙うも、リングに嫌われる。桐商が6点リードで逃げ切り、ベスト8を決めた。